

第99回青梅丘陵ハイキング

株式会社ケミカル(第六支部) 石井洋介

2021年3月28日(日曜日)曇り

新型コロナウイルスの、緊急事態宣言中のため、新年の高尾山の薬王院の護摩焚き修養も中止となり、更なる、感染拡大によつての延長に次ぐ延長で、不安の毎日が続き、ストレス満開の思いで一杯でしたが、無事解除された3月28日の日曜日、今年始めてのハイキング同好会の開催となりました。

感染拡大に最大限に注意し、マスクを二重にしての参加となりました。車窓からの景色は、染井吉野の見事な桜の満開に、何か励まされたような期待感と、天候不良予想からの不安感でしたが、青梅駅にはすでに、原さんご夫婦と、元事務局長の山本さん、大井さん、青年部の高橋さん達が集合し、同じ電車で到着の石井と、事務局長の礒川さん、そして幹事の礒部さんが到着したところで、駅前での恒例の記念撮影を行いました。

原さんのご主人は、お仕事でお帰りになりましたので、7名での出発となりました。舗装道路の旧坂を登ります。途中の青梅鉄道公園には蒸気機関車が展示され、親子での楽しむ姿が、非常に印象的でした。更に永山公園に続く、杉の林道からの眺める山々に咲く山桜は満開で、そして道端の綺麗な山吹の花も、印象的でした。

青梅丘陵は、道幅も広くなだらかな斜面で非常に歩きやすく、若い男女のトレイルランナーも多く、楽しんでいました。休息所も、何箇所も整備され、道案内でお尋ねした老婦人の話では「コロナになってからここを訪れるハイキングの皆さんが非常に多いです」と語っていました。

本日の最高地点である矢倉台(383m)には、険しい登りが皆無のため、礒川さんも足のトラブルもまったく心配せず登ることが出来、若林同好会幹事も参加出来たのになど、内心思いました。都内では、お昼前から断続的に雨が降っていたそうですが、全く雨の心配をせず矢倉台頂上での昼食では、晴れ間が広がり美味しい黒ビールと焼酎とバーボンウイスキーと温かい紅茶が、最高でした。同好会の皆様の差し入れには、いつも本当に、有り難うございます。

楽しい昼食のあとは、多摩川河川敷に広がる釜の淵公園に、向かいました。青梅市街地に下り、途中、枝垂れ桜で有名な金剛寺に寄り、堀内の数々の枝垂れ桜は、古き巨木の美しさに圧倒されました。金剛寺は平将門が平安時代中期に創立した由緒ある寺院ですが、天保二年の火災の中で、唯一焼失を免れた表門が、東京都指定有形文化財に指定されています。

多摩川の釜の淵公園では、染井吉野の桜も満開、河原で楽しむ人達も、素晴らしい景色に、私達と同様に、春爛漫の美しさを堪能したと思います

最後に、青梅駅の近隣の梅岩寺の枝垂れ桜を、更に観賞しました。梅岩寺と金剛寺の枝垂れ桜は、姉妹桜とのことでした。恒例の打上もありませんでしたが、帰宅するまで雨天にならず、日差しも射し、暖かな最高のコンディションでした。

今月、古希を迎えた私に、新型コロナウイルスの大変な中でも、毎年、時がくれば必ず咲く美しい桜が、勇気と希望を与えてくれた、素晴らしいハイキング同好会の日でした。